

別売部品

■交換用ディスクペーパー

No.28970	乾式ディスクペーパー	80番	3枚
No.28972	乾式ディスクペーパー	150番	3枚
No.28974	乾式ディスクペーパー	240番	3枚
No.28976	湿式ディスクペーパー	320番	3枚

■オプションパーツ

No.28064	水槽タンクセット
----------	----------

保守と点検

- 使用後は、粉塵などを取り除いたのち保管してください。
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。
- 本体は完全な防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったりしないでください。また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどで洗ったり拭いたりしないでください。変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定したところにしてください。また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

アフターサービス

- 保証について
保証期間(1年間)中の故障につきましては、無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは「保証書」裏面をご覧ください。)
- 万一故障が発生した場合
故障または修理をご依頼される場合、アフターサービス係までご連絡ください。

アフターサービス係

受付時間 月～金(祝日除く) 9:00～12:00/13:00～17:00

直通ダイヤル **06-6693-5353**

修理をご依頼の場合、修理品は下記まで直接お送りください。尚、送料はお客様のご負担となります。

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8

株式会社キソパワーツール アフターサービス係

- 補修用部品の保有期間について
この商品の補修用性能部品(商品の特性を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、3年間保有しております。

製造元 株式会社 キソパワーツール

●商品、カタログに関するお問い合わせ
月～金(祝日除く)9:00～12:00/13:00～18:00となっております。
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7丁目1-8
TEL:06-6693-5353(代) FAX:06-6693-5355

●アフターサービス係
9:00～12:00/13:00～17:00 ☎06-6693-5353
ホームページでのインフォメーションは<http://www.kiso-proxxon.co.jp/>

※改良のため予告なく仕様、使用方法を変更する場合があります。

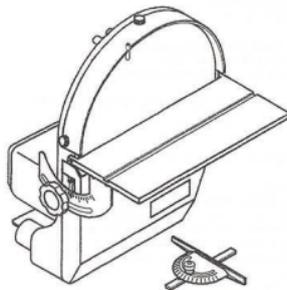
PROXXON

プロクソン ディスクサンダー

No.28060

取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までよくお読み下さい。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管して下さい。



もくじ

■安全上のご注意	2	■研磨くずの処理	6
■各部の名称/付属品/仕様	3	■分解図と部品表	7
■使用方法	3	■別売部品	8
■電源の接続とスイッチ操作	3・4	■保守と点検	8
■ディスクペーパーの貼り付け方	5	■アフターサービス	8
■ディスクペーパーの貼り替え方	6		

この度は、**プロクソン・ディスクサンダー**をお買い上げ頂きありがとうございます。
安全に効率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

安全に効率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

火災、感電、けがなどの被害を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守ってください。
使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示しながらかけて使用して下さい。お読みになった後は、お役にになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

【シンボルとシンガurl用語】の意味について

注意文の頭部の表のシンボルとシンガurl用語の意味を説明します。なお、**▲**記号に記した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつ可能性があります。いずれも重要な内容を指しているため、必ず守ってください。

▲ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

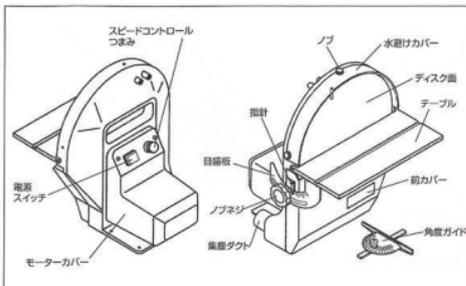
▲ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物の損害のみが発生が想定される内容の注意。

▲ 警告

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
 - 電動工具は、途中で使用したり、落った、または、めれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 作業場は、十分に明るくして下さい。
 - 可燃性の油やガスのある所で使用しないで下さい。
- 事前にご注意して下さい。
 - 雨中で使用したり、落った、または、めれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。(例えば、パイプ、鉄筋、電気ケーブル、電子レンジ、冷蔵庫などの外材)
 - 切断や研削の作業の際、水、研削液などは、使用しないで下さい。
- アース端子が付いている商品は、必ずアースを接続して下さい。
- 使用前は、指針に表示している電圧を確認して下さい。表示を越える電圧で使用すると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因になります。
 - 空転、空転より作業するときに、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
 - 小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
- 作業中は、手、目、顔を運動に近づけないで下さい。
- 子供を近づけないで下さい。
- 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所に保管して下さい。
- 指定された用途以外での使用は絶対に行わないで下さい。
- きちんとした訓練で作業して下さい。
 - 十分な注意や、鋭い物の存在など、警報部に書き付いた内容は必ず守らなければならない。
 - 事故を防止するため、手袋等の着用は絶対に行わないで下さい。
- 作業中は保護メガネを使用して下さい。防護の多いところは、防護マスクを着用して下さい。
- 電源コードを乱雑に扱わないで下さい。
 - 電源コードを持って電動工具を選んだり、電源コードを引つなげて電源コンセントから抜かないで下さい。
 - 加工する物をしっかりと固定して下さい。
 - 加工する物を固定するために、クランプやバイス(力かけ)を使用して下さい。
- 無理な力で作業をしないで下さい。
- 次の作業は、電動工具の電源スイッチを切り、電源プラグを電源から抜いて下さい。
 - 刃物を入れたい場合、または修理する場合。
 - 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
- 刃物、ビット等の付属品の取り付け、及び交換は取扱説明書に従って正確に取り付けて下さい。
 - 結束などとは、はずれたら、けがの原因になります。作業する前には、必ず確認して下さい。
- 電源を入れる前に、付属品の取り付けに使用したキーやレンチ等の工具類の取り外しがあるか確認して下さい。
- 電源プラグを電源に差し込む前に、電源スイッチが切れている(OFF)状態を確認して下さい。
20. 屋外で延長コードを接続して使用する場合、屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
 - 刃物類は、常に手入れをし、よく乾いた状態を保ってください。
 - 刃物類は、常に手入れをし、よく乾いた状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取り扱い説明書に従ってください。
 - 電源コードは定期的点検し、損傷している場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 握り柄は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスが十分に入らないようにして下さい。
 - 駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷が十分に入らないように確認して下さい。修理が必要な場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
22. 指定の付属品の劣化、または指定していない部品を使用して下さい。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
23. 誤った使用、たぐひ、たぐひたぐひ、たぐひたぐひ(有償)やたぐひたぐひ(有償)を修理して下さい。そのままで使用する、事故の原因になります。買戻の場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
24. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
25. 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆その他、取扱い上ご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

■各部の名称



■付属品

- ディスクペーパー(乾式) 80番・150番・240番各1枚
- シリコンシール(白)1枚
- シール台紙3枚
- 角度ガイド1ヶ
- 集塵シール(大・小)各1ヶ
- 本体固定ネジ4本
- 集塵用ゴムパイプ・集塵アダプター(電気掃除機とのジョイント用)各1

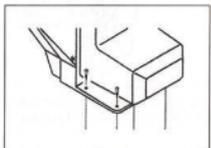
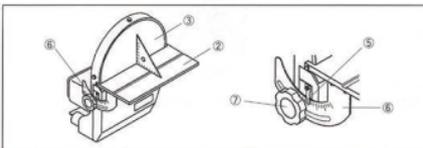
■仕様

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	100W
ペーパーの回転数	280~480min ⁻¹ (回転/分) (無段階電子コントロール付)
テーブル寸法	275×120mm (45mmまで幅調整可能)
質量	4.7kg

▲ 警告

定格使用時間以上の連続使用はしないでください。定格使用時間…30分
長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度電源スイッチを切り(OFF)、約15分たってから使用して下さい。(電源スイッチの入りによる連続運転は連続使用と同じです。)

■使用方法 ●目盛りの確認(調整)



● 三角定規等を利用してディスク面③とテーブル④が90°になるようにし、ノブネジ⑦を締めます。

● 目盛りが⑤を指していない場合は、指針⑥をドライバーで軽くゆるめ⑥を指すようにしてください。

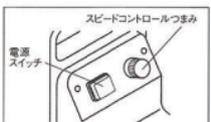
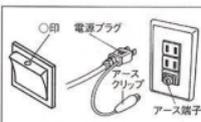
● 指針⑥が目盛⑥の0を指していることを確認してください。

ディスクサンダーを机または作業台に4本のネジ(付属)でしっかりと取り付けます。

■電源の接続と電源スイッチ操作

▲ 警告

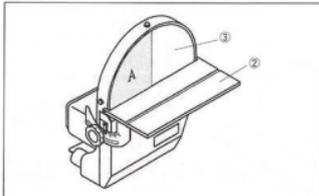
電源コードは、電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。電源スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。



電源プラグより出ているアースクリップを利用して、電源コンセントのアース端子にアース接続(接地)をしてください。アース端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースを引く工事を行ったうえで、確実に接続してください。

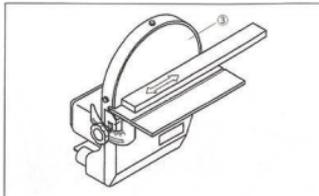
電源スイッチをONにします。(○印を押す)電源スイッチの右側のスピードコントロールつまみを回します。ディスク面の回転数が変わります。電源スイッチのカバーははずさないでください。電源スイッチの故障の原因になります。

●木材・プラスチック・金属などを研磨する場合



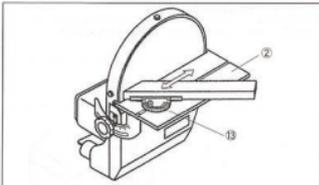
- 加工材の固さにあわせて回転を調節してください。
- 加工材はなるべくテーブル②に沿うようにしてください。
- ディスク③は反時計回りに回転します。
- 小さい物を研磨する場合はディスク面③の左側(Aの部分)で作業してください。

●長い材料の場合



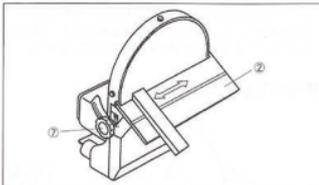
ディスク面③に加工材全体を当てて、左右にスライドさせ作業します。

●角度ガイドを使った作業



角度ガイド①を調節し、テーブル②の溝に入れ、加工材と角度ガイドを③を一緒に左右にスライドさせます。

●テーブルに角度をつけての作業

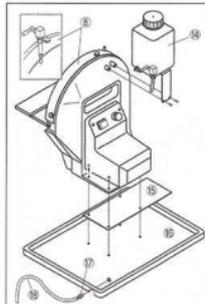


ノブネジ⑦をゆるめテーブル②の角度を調節します。

●金属・ガラス・石・タイルなどを研磨する場合

▲注意

金属・ガラス・石・タイルなどを研磨する場合は湿式ディスクペーパーと水槽タンクセット(別売)を使用してください。



水槽タンクセットの取り付け方

別売の水槽タンクセットを取り付けてください。

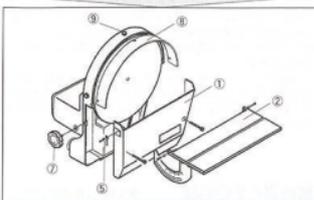
- 水槽タンク⑭を本体上部の裏側に取り付けます。
- 水槽タンク⑭のビニールホースを水受けカバー⑮のホース取り付け口に差し込みます。
- 受け皿⑮を外周部分にある丸穴にニップル⑯を外向きに入れ付属のナットで固定します。(工場出荷時、受け皿にニップル取り付け済)
- 受け皿⑮を机又は作業台に置きます。ゴムフック⑮を受け皿⑮の穴に合わせ、その上にディスクサンダー本体の穴も合わせておきます。4本のネジで机又は作業台に取り付けます。
- ビニールホース(長)⑮を受け皿⑮のニップル⑯に差し込みます。(排水用)
- 水槽タンク⑭に水を適量に入れコックを開いて水を流しながら作業を行ってください。

■ディスクペーパーの貼り付け方

▲注意

- 最初にディスク面の汚れ(水分、油分)をベンジン又はアルコール等で拭き取ってください。ディスク面に汚れが付いているとしっかりと貼り付けができません。
- ディスクペーパーの貼り付け方法にはA、Bの2種類あります。A方法が貼り付けを簡単に行えます。
- シリコンシールを使用しますとディスクペーパーの取り替えが簡単に行えます。
- ディスクペーパーの取り替え頻度が少ない場合はディスク面③に直接ディスクペーパー(貼)を貼り付けてください。
- ディスクペーパーを取り替えながら作業をされる場合は、ディスク面③にシリコンシール(白)を貼り付けてからディスクペーパーを貼り付けてください。ディスクペーパーの取り替えが簡単に行えます。

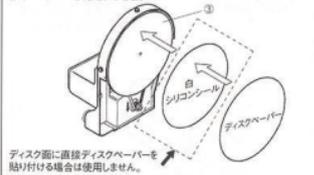
A方法/シリコンシールを利用される場合はシリコンシール、ディスクペーパーの順で貼り付けてください。また、ディスクペーパーを貼り付ける際、ディスクペーパーの裏紙は保管しておいてください。ディスクペーパーを取り外すときに使用します。



ディスクサンダー本体の前面部分の取り外し方

- 指針⑤を+ドライバー⑥で取り外します。
- ノブ⑦を取り外します。
- テーブル②の閉鎖のネジをL型レンチ(小)でゆるめ取り外します。
- L型レンチ(大)で前カバー①のネジをゆるめ前カバーを取り外します。
- ノブ⑧をゆるめ水受けカバー⑮を取り外します。

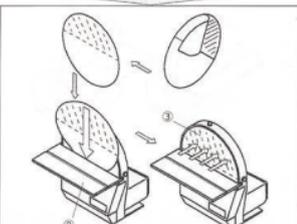
(シリコンシールを利用した場合)



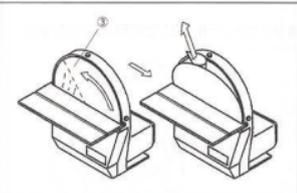
ディスク面に直接ディスクペーパーを貼り付ける場合は使用しません。

- ディスク面③にディスクペーパー(シリコンシール)を貼り付けます。注:シリコンシールを貼り付け、気泡ができた場合は針などで気泡を突いてつぶしてください。ディスクペーパーを貼り付ける際、十分な接着力が得られません。
- ディスクサンダー本体の前面部分を取り外したときと逆順で取り付けます。
- 前面部分の取り付け完了後、「目盛りの確認(調整)」(P3)を行ってください。

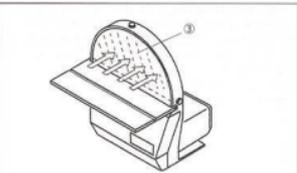
B方法/シリコンシールを利用される場合はシリコンシール、ディスクペーパーの順で貼り付けてください。また、ディスクペーパーを貼り付ける際、ディスクペーパーの裏紙は保管しておいてください。ディスクペーパーを取り外すときに使用します。



- ディスクペーパー(シリコンシール)の裏紙を半分程度はがします。
- ディスクサンダー本体とテーブル②の隙間にディスクペーパー(シリコンシール)の裏紙が残っている方から差し込みます。
- ディスクペーパー(シリコンシール)をディスク面③の円周に合わせ貼り付けます。



- ディスク面③を180°回転させます。
- ディスクペーパー(シリコンシール)の残りの裏紙をはがします(抜き取ります)。

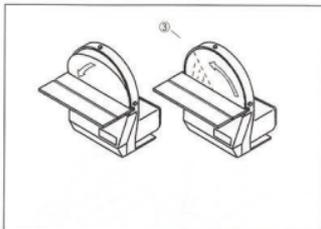


- ディスク面③にしっかりと貼り付けます。注:シリコンシールを貼り付け、気泡ができた場合は針などで気泡を突いてつぶしてください。ディスクペーパーを貼り付ける際、十分な接着力が得られません。

■ディスクペーパーの貼り替え方

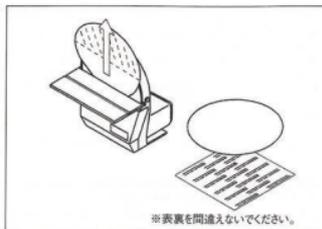
●シリコンシール(白)を使用した場合

(ディスクサントナーの前面部分を取り外さないで貼り替えをされる場合)



①ディスクペーパーをシリコン面から半分はがし、保存してあったディスクペーパーの裏紙(無地側)をディスクペーパーに貼り付けます。このとき、ディスクペーパーの接着面に不純物(木くず等)が付着しないよう注意してください。ディスクペーパーの裏紙がない場合は付属のシール台紙を適当な大きさに切って使用してください。シール台紙の表裏を間違えないようにしてください。

②ディスク面③を180°回転させます。



③ディスクペーパーをはがし引き抜きます。

④はがしたディスクペーパーを再利用される場合は不純物が付着しないよう付属のシール台紙に貼り付けて保存してください。シール台紙の表裏を間違えないようにしてください。

⑤「ディスクペーパーの貼り付け方」(P5)の手順に従って貼り付けてください。

⑥ディスクペーパーを再利用する際、接着力が弱い場合、貼り付ける前にディスクペーパーの接着面をドライヤー等で暖めてください。接着力が増します。(使用回数等によっては効果が得られない場合があります。)

●シリコンシール(白)を使用しなかった場合



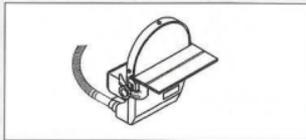
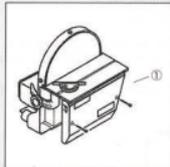
①ディスクペーパーは非常にはがしにくくなっています。ドライヤー等で暖めながらはがしてください。尚、はがしたディスクペーパーはディスクサントナー用としての再利用はできません。

②ディスクペーパーのはがし方等がないことを確認してください。

③「ディスクペーパーの貼り付け方」(P5)の手順に従って貼り付けてください。

④シリコンシール(白)を使用される場合は、シリコンシールを貼り付けてからディスクペーパーを貼り付けてください。

■研磨くすの処理



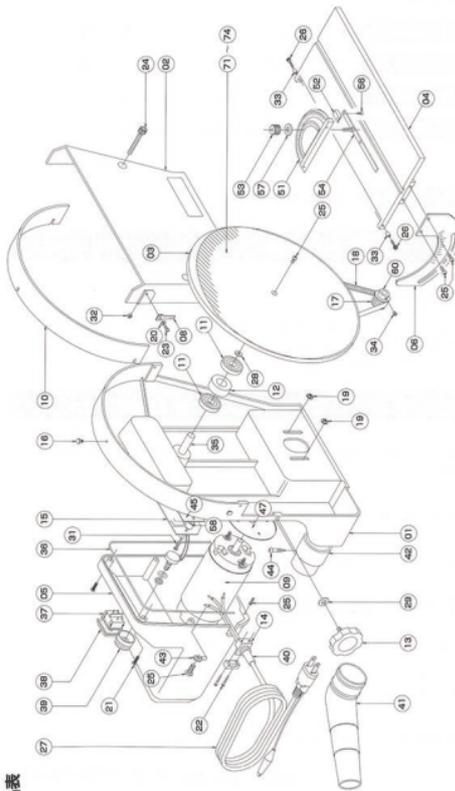
●集塵ダクト⑩に、お手持ちの掃除機のホースを接続すれば、より快適な状態で作業を行っていただけます。水槽タンク使用時には使えません。

●差込口の太さがあわない場合は、付属の集塵用ゴムパイプ又は集塵アダプターをご使用ください。

●定期的(作業終了時)に前カバー①を開き、研磨くすを処理してください。

前カバーを取りはずす際、指針をとりはずすなどして、指針をまげないよう注意してください。又、指針を取りはずした場合は、取り付け後「自感りの確認」(P3)を行ってください。

■分解図と部品表



部品名	商品名	部品名	商品名	部品名	商品名	部品名	商品名
01	本体	12	クリップ	20	タンクボス	33	テープホルダー
02	前カバー	13	クリップ	21	タンクボス	34	テープホルダー
03	ディスク	14	コードストッパー	22	ボス	35	ボス
04	ディアル	15	ボス	23	ボス	36	ボス
05	フィルム	16	ボス	24	ボス	37	ボス
06	フィルム	17	ボス	25	ボス	38	ボス
07	ボス	18	ボス	26	ボス	39	ボス
08	ボス	19	ボス	27	ボス	40	ボス
09	ボス	20	ボス	28	ボス	41	ボス
10	ボス	21	ボス	29	ボス	42	ボス
11	ボス	22	ボス	30	ボス		
		23	ボス	31	ボス		
		24	ボス	32	ボス		
		25	ボス				
		26	ボス				
		27	ボス				
		28	ボス				
		29	ボス				
		30	ボス				
		31	ボス				
		32	ボス				
		33	ボス				
		34	ボス				
		35	ボス				
		36	ボス				
		37	ボス				
		38	ボス				
		39	ボス				
		40	ボス				
		41	ボス				
		42	ボス				
		43	ボス				
		44	ボス				
		45	ボス				
		46	ボス				
		47	ボス				
		48	ボス				
		49	ボス				
		50	ボス				
		51	ボス				
		52	ボス				
		53	ボス				
		54	ボス				
		55	ボス				
		56	ボス				
		57	ボス				
		58	ボス				
		59	ボス				
		60	ボス				
		61	ボス				
		62	ボス				
		63	ボス				
		64	ボス				
		65	ボス				
		66	ボス				
		67	ボス				
		68	ボス				
		69	ボス				
		70	ボス				
		71	ボス				
		72	ボス				
		73	ボス				
		74	ボス				
		75	ボス				
		76	ボス				
		77	ボス				
		78	ボス				
		79	ボス				
		80	ボス				
		81	ボス				
		82	ボス				

※別冊「取扱説明書」の「安全に関する注意」を必ずお読みください。また、この取扱説明書は、お客様の安全のために、必ずお読みください。

キヤノンパワーツール アフターサービス課 tel.06-6999-5353 月～金(祝日除く) 9:00～12:00/13:00～17:00